

平成29年11月1日

お知らせ

資料提供先：島根県政記者会、広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス 道の駅「赤来高原」を拠点とした自動運転サービス 実証実験をスタート！

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指し、今年秋頃より順次、全国13箇所で実証実験を行う予定です。

今回、道の駅「赤来高原」での**実証実験を11月11日（土）から11月17日（金）まで行います。**

また、実証実験の開始に合わせて、11月11日（土）に実験開始式を以下のとおり行いますので、お知らせいたします。概要は添付資料をご覧ください。

なお、実証実験期間中（事前の準備期間を含む）、道の駅「赤来高原」の周辺道路の一部が交通規制されますので、ご注意ください。

【実験開始式】

1. 日 時 : 平成29年11月11日（土）11時00分から
2. 会 場 : 道の駅「赤来高原」
（島根県飯石郡飯南町下赤名880番地3）（雨天決行）
3. 主 催 : 道の駅「赤来高原」を拠点とした
自動運転サービス地域実験協議会
4. 概 要 : 挨拶、実験概要説明、実験車両説明
テープカット、実験車両試乗 等

※報道機関の方で、実証実験期間中の取材・実験車両への試乗をご希望の方は、11月9日（木）17時までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

※道の駅「赤来高原」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会HP

<http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/jidouunntennHP.pdf>

※本実験は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）のプロジェクトの1つとして実施するものです。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所 TEL (0852) 26-2131（代表）
副所長（管理） 溝田 亨（みぞた とおる） （内205）

【開始式担当】 総務課長 岩山 学（いわやま まなぶ） （内211）

【実証実験担当】 計画課長 高崎 修（たかざき おさむ） （内261）

国土交通省 中国地方整備局 道路部 交通対策課 TEL (082) 221-9231（代表）

交通対策課長 後藤 英夫（ごとう ひでお） （内4511）

建設専門官 景山 浩孝（かげやま ひろたか） （内4517）

（広報担当窓口）

国土交通省 中国地方整備局 広報広聴対策官 坂屋 政之 （内2117）

企画部 環境調整官 足立 司 （内3114）

TEL (082) 221-9231

実験開始式の概要

- 日 時 : 平成29年11月11日(土)11時00分から
○場 所 : 道の駅「赤来高原」
(島根県飯石郡飯南町下赤名880番地3)(雨天決行)

○概 要

受付開始 10時30分から

式典開始 11時00分から

- (1)開催地挨拶
- (2)来賓挨拶
- (3)実験概要説明
- (4)実験車両説明
- (5)記念撮影、テープカット
- (6)実験車両試乗

式典終了 12時00分頃

※式典終了後、報道機関の方々や関係者が実験車両に試乗。

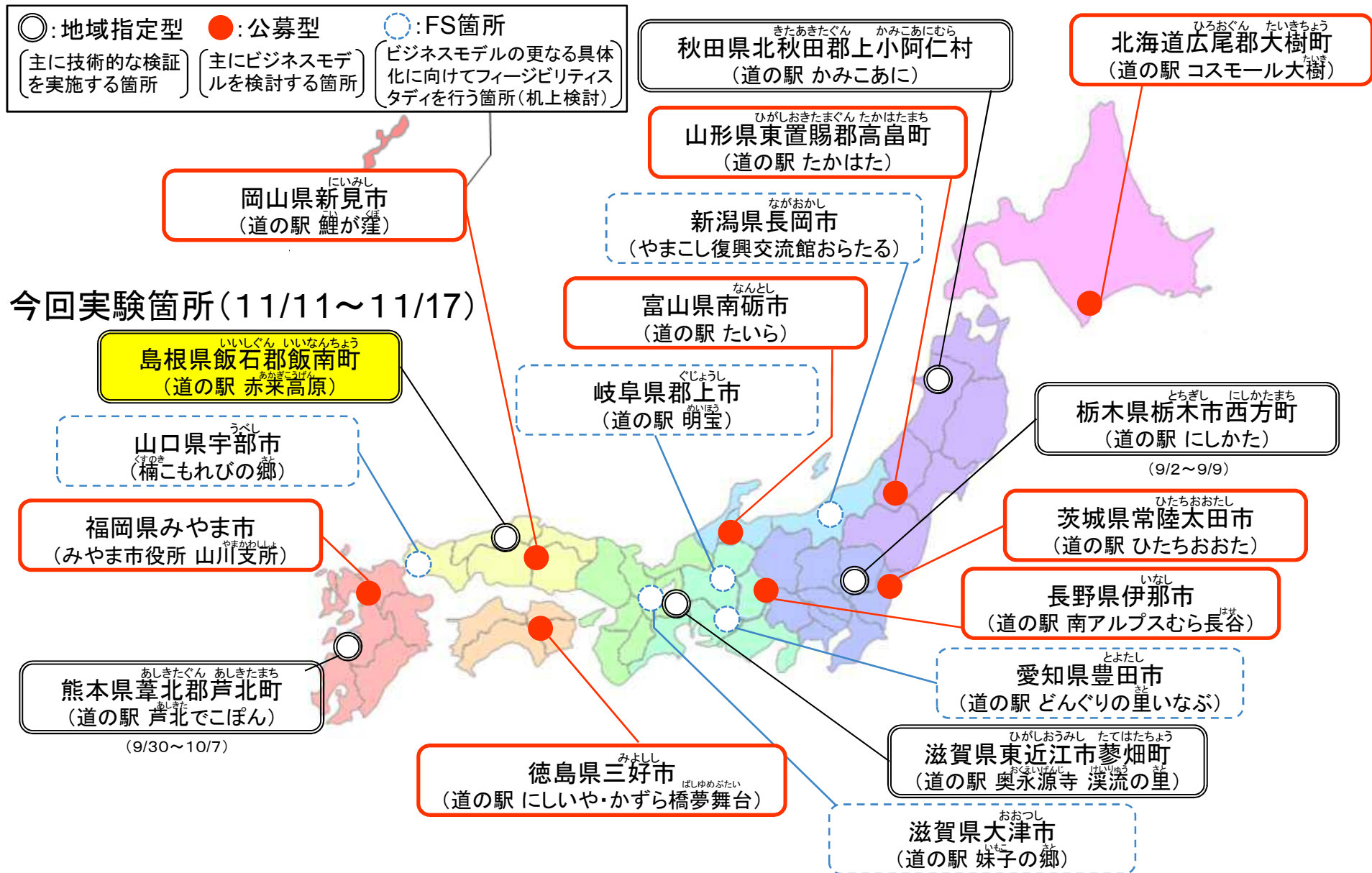
※報道機関の方で取材・実験車両への試乗をご希望の方は、11月9日(木)
17時までに中国地方整備局 松江国道事務所(TEL0852-26-2131担当:
岩山、高崎)までご連絡ください。

※車両入場の際は、フロントの見える位置に添付資料「駐車券」を掲示してください。



会場案内図(道の駅横に駐車場あり)

平成29年度 実証実験箇所 位置図



バスタイプ	乗用車タイプ
<p>①株式会社ディー・エヌ・エー</p>  <p>「レベル4」(専用空間) 「車両自律型」技術 (GPS、IMUにより自車位置を特定し、規定のルート进行 (点群データを事前取得))</p> <p>定員： 6人(着席) (立席含め10名程度) 速度： 10km/h程度 (最大:40km/h)</p>	<p>③ヤマハ発動機株式会社</p>  <p>「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道)) 「路車連携型」技術 (埋設された電磁誘導線からの磁力を感知して、既定ルートを走行)</p> <p>定員： 7人 速度： 自動時 ~12km/h 程度 手動時 20 km/h未滿</p>
<p>②先進モビリティ株式会社</p>  <p>「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道)) 「路車連携型」技術 (GPSと磁気マーカ及びジャイロセンサにより自車位置を特定して、既定のルートを走行)</p> <p>定員： 20人 速度[※]： 35 km/h 程度 (最大40 km/h)</p>	<p>④アイサンテクノロジー株式会社 [今回使用]</p>  <p>「レベル4」(専用空間) + 「レベル2」(混在交通(公道)) 「車両自律型」技術 (事前に作製した高精度3次元地図を用い、LiDAR(光を用いたレーダー)で周囲を検知しながら規定ルートを走行)</p> <p>定員： 4人 速度[※]： 40km/h 程度 (最大50 km/h)</p>

GPS : Global Positioning System, 全地球測位システム
IMU : Inertial Measurement Unit, 慣性計測装置

※速度は走行する道路に応じた制限速度に適応

道の駅「赤来高原」自動運転実証実験ルート (走行延長約5.7km)

Esri, HERE, DeLorme, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS user community.
Source: Esri, DigitalGlobe, GeoEye, Earthstar eographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community

至松江

至広島



運転手不在で自動走行
(自動運転レベル4)
○特に厳しい道路構造(+18%~-16%の勾配変化等)における自動走行
○緊急対応用に係員が助手席に乗車
○専用空間を走行 [0.6km]

運転手が監視しながら自動走行
(自動運転レベル2)
○ハンドル・アクセルは自動(緊急時は介入)
○一般車・歩行者との混在区間を走行 [3.9km]

【実験車両】

○アイサンテクノロジー(株)

【実験スケジュール】

○11/11(土)
・11:00～ : 実験開始式
・PM : レベル4走行(乗客無し)

○11/12(日)～11/17(金)
・10:00～17:00 : 11便～15便
※ 1回あたり40分程度で走行
※ 乗車モニター約140名

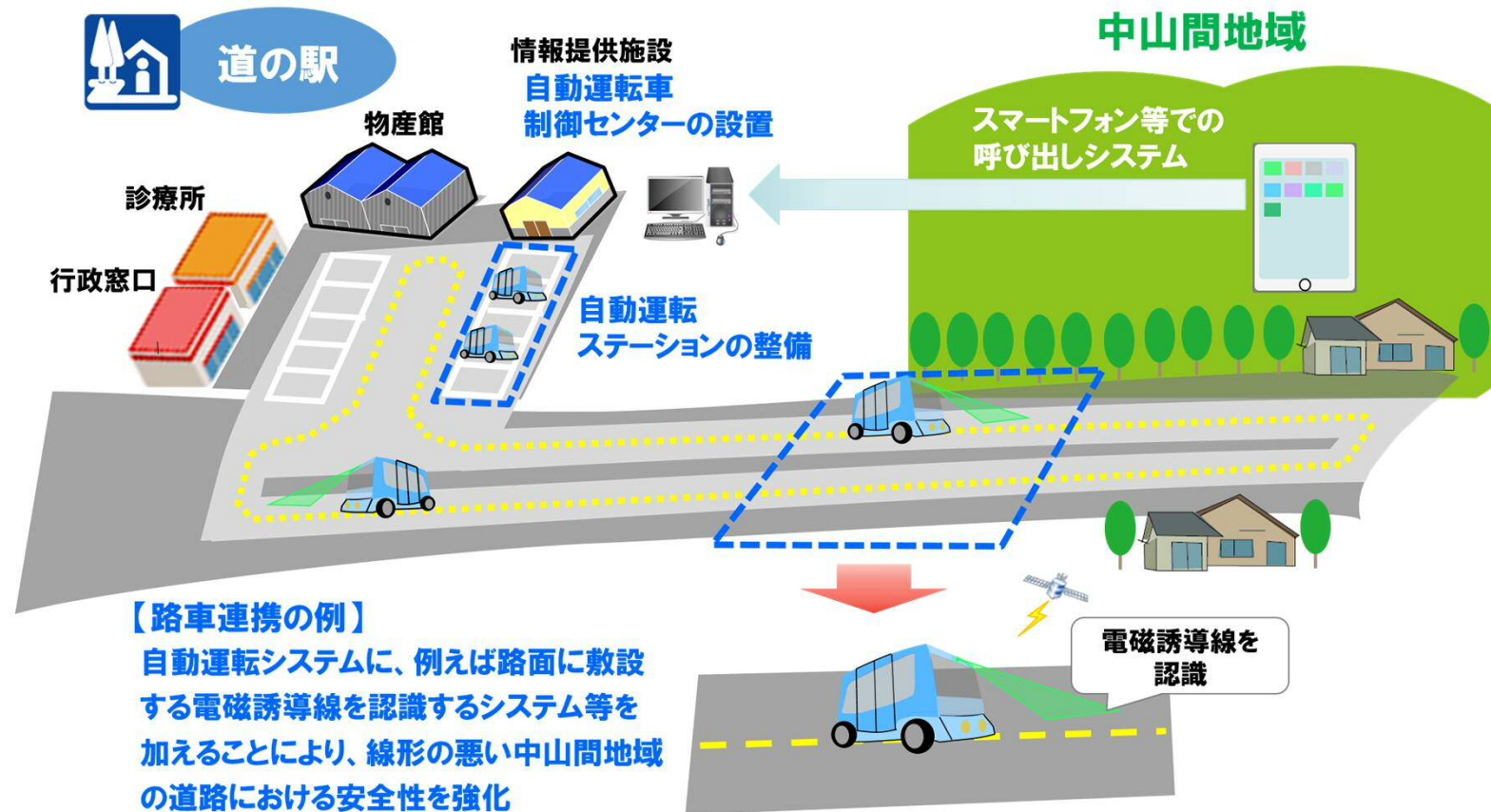
【使用車両】：アイサンテクノロジー乗用車型 [混在区間 + 専用区間] ※専用区間は運転手不在(ただし緊急対応用に係員は乗車)

- ・ 事前に作成された高精度3次元地図を用い、あらかじめプログラムされたルート^{ライダー}を、LiDAR(光を用いたレーダー)を用いて周囲の環境を検知しながら走行。
- ・ プログラムされたルートから外れた場合、又は障害物を検知した場合は減速・停止(障害物等の回避は不可)。



項目	実験において検証する内容	
①道路・交通	<p>○相互に円滑な通行のための道路構造の要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後続車の追い越しを考慮した幅員 ・待避所、停留所の設置 ・歩行者、自転車との分離方法 	<p>○自動運転に必要なとなる道路の管理水準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に厳しい道路勾配(+18%~-16%) ・狭小幅員 ・植栽の繁茂
②地域環境	○降雨等による、LiDARの検知能力	
③コスト	○車両の維持管理コスト	
④社会受容性	○自動運転技術への信頼性、乗り心地	
⑤地域への効果	<p>○集落⇔道の駅への貨客混載等による配送実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集荷場から道の駅への農作物(りんご、野菜等)の配送 ・道の駅への宅配便の集荷 <p>○高齢者等の外出を促す実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存バス路線への乗り継ぎ <p>○観光面での活用実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源(赤名宿)^{あかなじゆく}への観光客の輸送 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院への通院における利用 <p>○島根大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転を活用した地域活性化の研究

●高齡化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



物流の確保
(宅配便・農産物の集出荷等)

貨客混載

生活の足の確保
(買物・病院、公共サービス等)

地域の活性化
(観光・働く場の創造等)

全国13箇所で順次実験開始(9/2~)

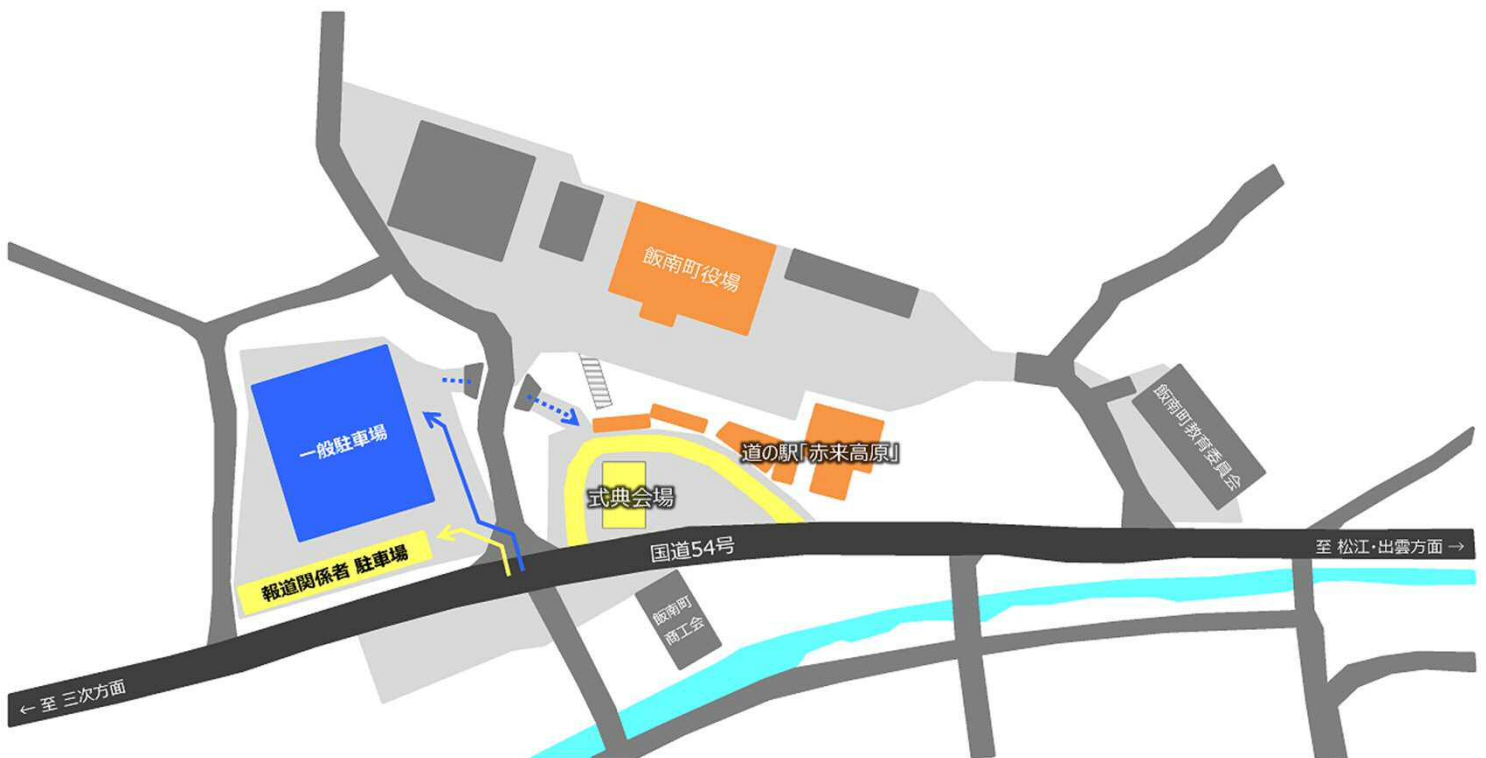
駐 車 券

【 道の駅「赤来高原」を拠点とした自動運転サービス実証実験開始式 】

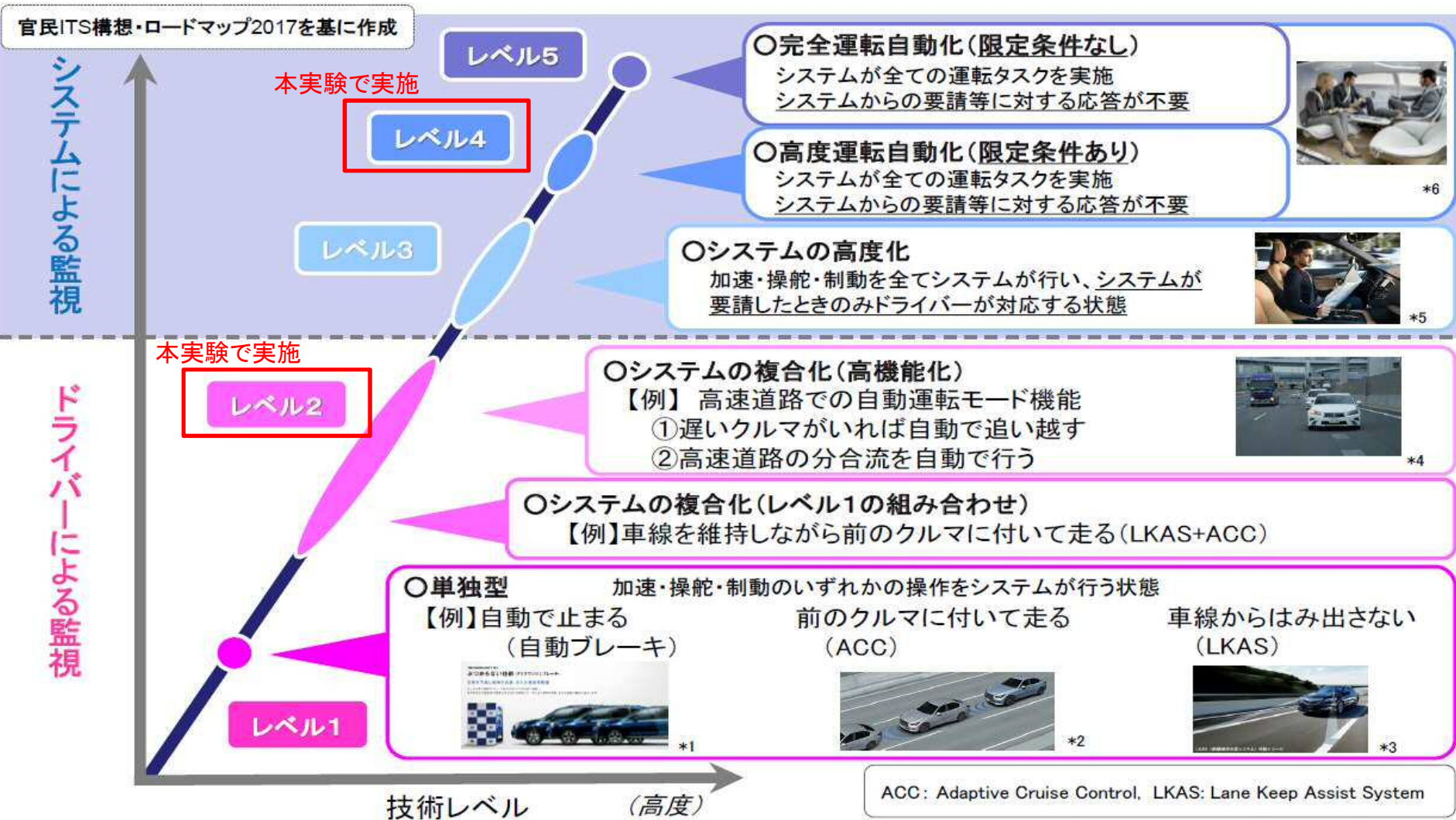
報 道

式典当日、フロントガラス越しに この「駐車券」を掲示し ご来場ください。

駐車場案内図



自動運転のレベル分けについて



*1 (株)SUBARUホームページ *2 日産自動車(株)ホームページ *3 本田技研工業(株)ホームページ
*4 トヨタ自動車(株)ホームページ *5 Volvo Car Corp.ホームページ *6 CNET JAPANホームページ

乗車モニターについて

乗車モニターとは、住民モニターと一般モニターのこと。

➤ 住民モニター

募集期間：平成29年11月10日（金）まで。

募集人数：実験車両の乗車前後のアンケート調査にご協力いただき、住民モニター（約70名）を募集。乗車は、実験期間中に2回まで可能とする。

募集要件：以下のとおり。

<必須> ・島根県飯南町にお住まいの方
 ・社会実験参加同意書へご署名いただける方
 ・アンケート調査にご協力いただける方（小学生以上の方）

+

<条件：以下のうち、1つ以上該当する方>
 ・50～80歳代の方
 ・運転免許を返納された方または、将来、返納予定の方
 ・道の駅を利用されている方

募集方法：飯南町役場を窓口として、チラシ等を通じて一般公募する。

➤ 一般モニター

募集期間：適宜

募集人数：関係者、道の駅来訪者等を対象とした一般モニター（約70名）。